

# 貧酸素水塊速報 (2020年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 東京都環境局  
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和2年6月29日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部の広い範囲に分布していました(図1)。

貧酸素水塊の厚みは3m程度で(図2)、規模も大きくはありませんが(図3)、珪藻による赤潮が広範囲で発生しており、今後急速に貧酸素水塊が拡大する可能性があります。

水温は表層22~25℃, 底層18~22℃です。

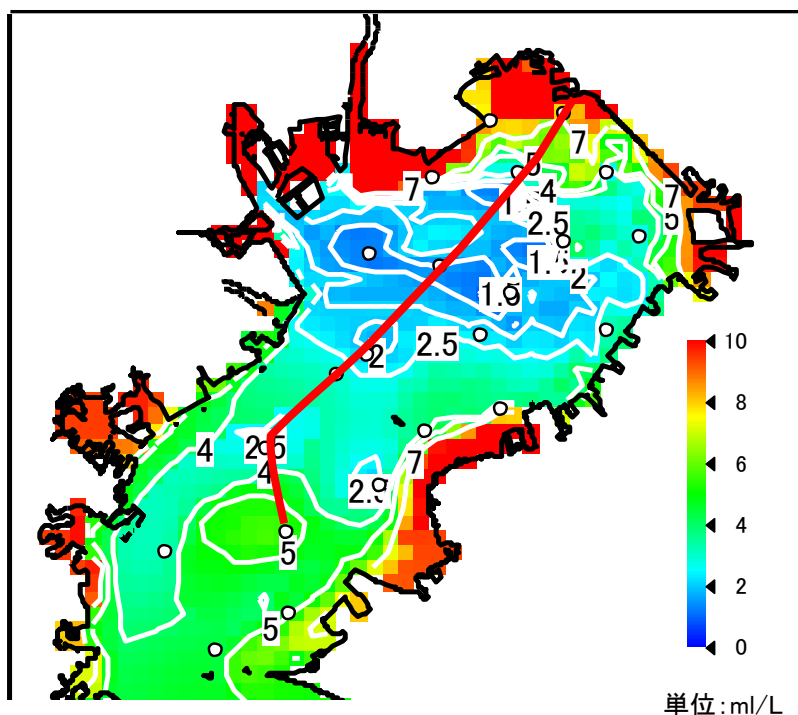


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

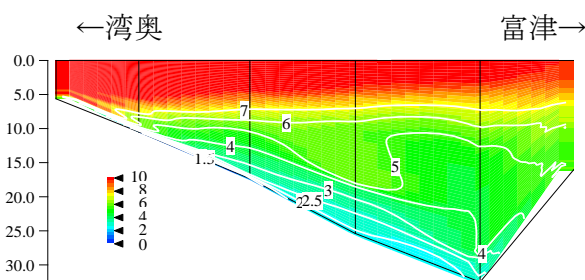


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

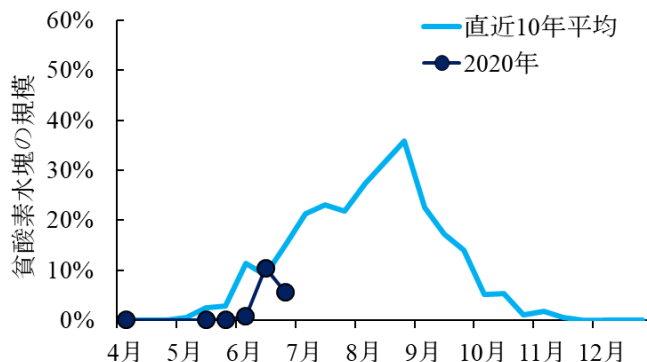


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)